

ちよだ 区議会 だより



No. 234

平成29年8月3日

編集: 区議会だより編集委員会

発行: 千代田区議会

〒102 - 8688 千代田区九段南1-2-1

☎ 3264-2111 内線3315

ファクシミリ 3288-5920

第2回 定例区議会



日比谷公園

トップニュース

Top News

災害対策用備蓄物資・防災被服・装備品の購入を可決！

災害対策用備蓄物資(食料・水等)、防災被服・装備品の購入契約を締結するため、千代田区議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定(予定価格2,000万円以上の動産の買い入れ)に基づき、議会の議決に付し、可決されました。

千代田区立住宅条例を廃止する条例を可決！

老朽化した千代田区立外神田住宅(昭和46年3月竣工。築46年)の用途廃止に伴い、千代田区立住宅条例を廃止するとともに、附則において関係条例の規定を整備しました。



主な内容

- 代表質問 2～3面
- 一般質問 4～5面
- 定例区議会活動報告等 6～9面
- 議案の審議結果等 10面

提案された議案等

- ◆区長提出議案
 - 条例 3件
 - 契約 5件
 - 報告 1件



●ホームページアドレス

<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp

*この区議会だよりは、区議会ホームページでもご覧になれます。区議会ホームページでは、「区議会日程」や「キッズページ」等を掲載しています。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利用ください。



区議会だよりはCD版、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局までご連絡ください。
☎3264-2111 内線3315

平成29年第2回定例区議会

代表質問 (要旨)

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、QRコードから録画映像にアクセスできます。

自由民主党議員団



永田 壮一

危機管理・減災対策について

問 ①テロ等危機管理対策は②減災のための自助促進方針は③北朝鮮弾道ミサイル発射によるJアラート発令時の対応は④備蓄物資・防災服更新時の有効活用を。

答 ①区内警察署・民間団体との協定に基づく研修会の実施②シェイクアウト訓練等での自助の周知③自動で防災行政無線を放送④普及啓発を兼ね訓練時に配布、防災服はリサイクルを検討。

低未利用地の利活用について

問 ①利活用の検討状況は②定期借地や交換で国・都が活用可能か③五輪対策、観光資源、地域活性化になる北の丸公園周辺整備を進めるべき。

答 ①検討会で個別財産の具体的活用策を検討②可能③整備基本構想案と地元協議会の意見をあわせて進める。

道路整備のあり方について

問 ①長期的視点での方針を②地域住民の合意形成は③沿道観戦を想定した五輪への整備方針は④区道・都道・国道接続点や区境での連続性の方針は。

答 ①安全安心等、変わらぬ道路のあり方を踏まえた方針とする②協議会を設立し合意形成する③バリアフリー化、暑さ対策等を検討する④接続点整備は交通機能が中心だが、景観整備の要望もあれば検討する。



内閣官房ポータルサイトより

自由民主党 新しい千代田



林 則行

軽井沢町と姉妹都市提携を

問 これまで議会は、区有施設の「軽井沢少年自然の家」の有効活用について議論を重ねてきた。軽井沢町と姉妹提携を結び交流を重ねれば、双方にとって最善策が見いだせるはず。見解は。

答 姉妹提携は、親交が深まり住民交流の定着化が展望された時点での実施が基本。連携協力の観点から防災、産業、観光等における交流促進が現実的。

受動喫煙防止条例と路上喫煙

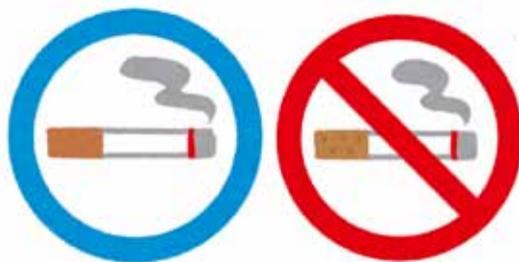
問 東京都の条例制定後は、屋内禁煙となる。区の次の対応策は①代替園庭として使用されている公園の禁煙化②喫煙場所の整備は現行計画で十分か③密閉型喫煙所の路上設置について。

答 ①地域と協議し禁煙公園に向け検討②平成36年までに100カ所整備し、徒歩3分以内に1カ所を目標とする③区内の道路状況から密閉型の設置は困難。

川端緑道と人道橋の今後

問 平成26年に日本橋川南岸の大手町地域に川端緑道が整備され、人の動線を創出する人道橋の設置計画もある。対岸の神田地域の進捗と整備体制は。

答 人道橋の計画にあわせ、地域と話し合いを始めたところ。緑道整備は、地区の特性、制約条件を踏まえ地権者の理解を得ながら検討を進める。



日本共産党区議団



木村 正明

区長の政治姿勢を問う

問 首相の憲法9条改正への言及は憲法擁護義務違反。都知事の豊洲の無害化はできていない、との発言は住民との約束違反。区長の見解を問う。

答 憲法改正は国会での十分な議論を期待。住民との約束を守ることは首長、議会含め当然のこと。区民からの信頼に応えるべく真摯に取り組む。

持続可能なまちづくりを

問 ①過度な規制緩和を見直し、大型開発と公共性の中身をチェックすべき②市街地再開発は地権者の財産に大きく影響するにもかかわらず、情報公開が不十分。準備段階での計画の公開を。

答 ①都市計画マスタープラン等の計画を踏まえ、地域の課題解決のため開発諸制度を適切に運用。過度の規制緩和ではないと認識。チェックは厳格な基準による透明性の高い運用で実施②準備段階での情報提供は財産・プライバシー等に影響するため対応はできない。

空き家を活用し借上型区営住宅を

問 ①空き家を利用した借上型区営住宅の検討を②区営住宅の入居資格を見直し、単身・低所得の若者が入居できるようにし、収入限度額も引き上げを。

答 ①借上型は新規建設・整備はしない②区営住宅は特に住宅に困窮している方が対象。入居資格の見直しはしない。



区営東松下町住宅

平成29年第2回定例区議会

代表質問 (要旨)

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、QRコードから録画映像にアクセスできます。

ちよだの声



小林 たかや

受動喫煙防止対策を早急に示せ

問 完全密閉型喫煙所について①昨年4月、芳林公園に設置されたがその効果は②今年度の具体的な増設予定は③適正配置を計画的に行う等、受動喫煙防止対策の道筋を示すべき。

答 ①苦情が大幅に減少。煙が漏れにくく、公園利用者等との分煙化に一定の効果が出ている②現時点では未定。喫煙に関する意見が多い公園を中心に設置を検討③屋内喫煙所設置助成制度を活用した喫煙所や、密閉型喫煙所の整備を推進。屋内喫煙の施策に関するロードマップを早期に示し、固めていく。

神田川防災船着場の日常開放を

問 ①防災船着場の役割とは。防災計画における位置付けを明確化すべき②船着場を日常的に開放し活用することで、区民に周知でき、災害時の活用促進につながるのでは。開放時の安全航行ルールが必要。都との連携は。

答 ①災害時の救助活動や物資輸送、平常時の防災訓練や河川環境保全のために設置。計画上は水上輸送基地としている②環境学習や地域活性化等、公益目的に限り使用を許可。年間150件程度の実績があり、認知度が向上し、発災時の有用性・活用性が高まることも期待できる。引き続き活用を図る。一般開放することについては、水位の変動や川幅・水深の制約等があり、構造的な面で不十分だと認識している。



千代田を紡ぐ会・民進



寺沢 文子

改正個人情報保護法への対応は

問 ①法改正に伴う区条例見直しの時期や方法、職員への周知や研修は②区内部や関連団体・事業者等への周知は③情報は、開示すべきは開示し、守るべきは守るべき。そのための区の方針は。

答 ①国の動向を注視し適切に見直す。並行して職員への周知、研修も進める②町会等の小規模団体も適用対象となった。関係資料を全庁で共有し、所管部署から各団体への周知に努める③情報の利活用と個人情報保護のバランスを図りながら、適切に取り組む。

介護保険改定にむけて

問 3年ごとの保険料値上げは、財政支出抑制が目的化し、高齢社会の安心を図る制度本来の目的が二の次になっている①制度を補うため、介護予防や福祉・医療を視野に入れた区の施策拡充を②介護職員確保や人材育成、施設の大規模修繕等へ、区の更なる支援を③区は高齢者へのボランティア活動に応じた交付金事業を実施中。この活動実績を特養入所時判定基準に加えては。

答 ①高齢者の生活を介護保険だけでは支えられないという従来からの考え方に基づき、必要なサービス等を介護保険外の一般施策でも行うよう、今年度策定の計画で示す②事業者の実態を把握し、都の補助金も踏まえ、区の支援を検討する③判定基準に加えることは、慎重かつ多角的な検討が必要。



公明党議員団



大串 ひろやす

高齢者の住まいについて

問 区の地域福祉計画において、「絆を幾重にも重ね合わせる」福祉が提唱された。新しい福祉の概念ともいえるもので是非実現していきたい。急速な高齢化に対応するため、医療、介護、住宅が連携した安心できる住まいの供給促進は喫緊の課題である。高齢者住まい法で新たに規定された専門家による安否確認や生活相談を提供するサービス付き高齢者住宅の整備が急がれる。区の考え方は。

答 生活基盤としての多様な「住まい」について考え方を明らかにする。その上でサービス付き高齢者住宅についても年度内に取り組み方針を定める。

防災リーダーの育成について

問 東日本大震災後、災害対策基本法が改正され「住民主体の防災対策」が基本理念に加えられた。この点、地域の防災リーダー育成は重要。防災士の養成を提案する。他自治体で行っているように区民等を対象に資格取得の経費を負担し養成しては。地域で顔のわかる防災士は住民の主体的な防災活動につながる。所見は。

答 近隣の助け合いを考えていく中で地域コミュニティが形成されることが理想。防災士の養成は、理想を現実化する一つの手段と認識。様々な事例を研究し本区に適した手法を検討する。



千代田区地域福祉計画2016

平成29年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、QRコードから録画映像にアクセスできます。

内田 直之 (自民) 

熱中症のリスクと対策について

問 熱中症の要因となるヒートアイランド現象は区政の最重要課題である。CASBEE^{キャスビー}の視点を踏まえた対策は。

答 ヒートアイランド対策は区政の最重要課題のひとつであり、積極的に取り組んでいく。また、CASBEEの視点は、建築物環境計画書に取り入れ、省エネ化を推進している。

障害者の福祉計画策定について

問 充実した障害者福祉を実現するため、障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画を相互に連携させるべき。計画策定の方針は。

答 計画策定にあたっては、切れ目ない支援が行えるよう、障害者計画と障害福祉計画、障害児福祉計画の連携を図り、一体の計画として策定したい。

小林 やすお (自民) 

安全安心な建築仮囲いについて

問 区内ではホテルやマンション建設現場が多くなっている。その工事用仮囲いの曲がり角を衝突防止のため透明パネル等にし、通行人等へ配慮すべき。区が指導し、条例化等もすべきでは。

答 工事現場の安全対策は、施工に伴う危害防止を目的に指導している。仮囲いは現場内コンクリ片等の飛散防止のため、従来は頑丈な鋼板等を設置。近年、透明で強度の高いポリカーボネート製品を自主的に採用する現場もある。交通上の安全に関しても重要なので、工事の各種届出等のあらゆる機会を通じて対策を図るよう調整する。



小枝 すみ子 (声) 

皇居周辺の景観について

問 ①皇居周辺の景観に責任をもつ行政主体はどこか②千代田区も景観計画を策定できる景観行政団体になるべき③超高層建築にあたり、平成15年に宮内庁から区に、建物から宮殿等が眺望されないこと等の要望が提出されている。今後の常盤橋プロジェクト等の建築について、区は協議すべき。

答 ①千代田区であると認識②団体移行に向け、都と協議を本格化していく③超高層ビルの建設計画を把握した場合、事業者に対し、宮内庁と協議を行うよう、助言に努めている。



皇居宮殿および宮内庁配置図

大坂 隆洋 (自民) 

公園の受動喫煙対策

問 生活環境条例やオフィスビル内禁煙化の進展により、多くの喫煙者が公園に集中する①完全分煙できる公園と子どもが遊べる禁煙公園の住み分けを②課題解決のロードマップ作成を。

答 ①子どもの利用が多い公園は速やかに禁煙とし、他の公園は地域と協議の上、密閉型喫煙所設置を進める②具体的方針を早急に示す。

旧高齢者センターの利活用

問 建物は閉鎖中で仮囲いされ、隣接する公園は多数の喫煙者で占められている。利用方針が決定されるまでの間、建物内に密閉型仮設喫煙所を設け、公園内を禁煙としてはどうか。

答 検討会において様々な角度から検討し、早急に活用策を打ち出す。

米田 かずや (公明) 

オストメイト対応トイレの導入

問 人工肛門や人工膀胱を利用しているオストメイトの方が排せつ処理をしやすくなるよう、便座の前方を広くした前広便座を設置しては。

答 全ての利用者が安心して利用できるトイレの設置を目指している。オストメイト対応についても、その効用や工事の可能性等を検討していく。

保育士支援奨学金について

問 保育士の安定的な確保と定着のため、区内の私立保育所等への勤務を条件に、奨学金等の支援を行う制度が他区で実施されている。本区でも導入を。

答 処遇改善のため、区独自に人件費への補助や家賃補助を行っている。これに合わせ、他の自治体の状況を見ながら総合的に判断していく。

飯島 和子 (共産) 

介護保険利用料と保険料

問 所得により介護保険利用料が3割になる。利用抑制につながり撤廃すべき。保険料は見直しごとに上がり、軽減策を図るべき。根本対策は介護保険の国庫負担を増やし、負担軽減を。

答 利用料は区独自の激変緩和措置を慎重に検討。保険料抑制のため、一般会計での福祉施策や、応能負担により、適切な保険料額に向け検討を進める。

障害者福祉手当は精神も対象に

問 障害者福祉手当は身体と知的が対象だが、精神障害者も対象にすべき。

答 障害福祉計画の改定時に、精神障害者への手当てについても、総合的に議論し検討する。

※この他、神田一橋中学校通信教育課程存続について質問しました。

平成29年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、QRコードから録画映像にアクセスできます。

牛尾 耕二郎 (共産)



ワンルームマンション建築問題

- 問** 区のワンルームマンション要綱の抜け穴を利用した建物が建築され、近隣住民とトラブルが発生。要綱改正を。
- 答** 当該狭小建物は新たな業態とも考えられ、規制には慎重な検討が必要。

区立保育園の保育士増員を

- 問** 区の子育て拠点である区立保育園の正規保育士は、休暇、休息も取れていない。正規保育士を増員すべき。
- 答** 臨時、派遣、非常勤保育士の勤務調整で負担を軽減。増員はしない。



近隣が反対するマンション建設現場

岩田 かずひと (民進ク)



路上喫煙者に対する対策

- 問** 路上喫煙者に科される過料を支払わない「逃げ得」防止の対策を。
- 答** 現場での丁寧な説明と適切な処理で防止するとともに、違反自体を減らすため、路上喫煙禁止の一層の周知を図っていく。

ペットの生体販売について

- 問** ペットショップを含む流通過程で、殺処分される数は年間約2万5,000件。動物愛護の観点から、動物をペットショップで購入すべきではない。区は販売店の新規開店を規制すべき。
- 答** 法律上、千代田区のみのお店規制は不可能。動物愛護に関する啓発を進め、新たにペットを飼う場合は、ブリーダーや動物保護団体等から譲渡の方法等があることを周知する。

池田 ともり (自民)



学生の地域活動への参画について

- 問** ①地域貢献や社会貢献の意欲を持つ学生を育成・支援している団体がある。更なる周知を行い、区の事業等で活用しては②災害時、地域活動に参加している学生との協力体制を作れないか③学生の地域活動への参画を支援し、活動の場をコーディネートする窓口・人材を区でとりまとめては。
- 答** ①既に活用している部署等では評価されているが、十分な周知ができていない。庁内や区のHP、地域活動団体の交流会等で周知する②災害時に災害ボランティアセンターを設置、学生を含むボランティア活動支援にあたる。日頃から地域で活動する学生等には、災害時も地域と共に活動することを期待する③区の窓口を明確にし、社会福祉協議会との綿密な連携を図り、効果的な取り組みが進められるよう検討する。

たかざわ 秀行 (千代田)



まちづくりについて

- 問** ①今までのまちづくりで住民は住み続けられるか②今後の方針は③ビル建設工事の騒音・振動への苦情を解決するため、行政の指導は可能か。
- 答** ①ハード・ソフト両面で地域ごとのルール作りを重視し、定住化を促進②地域の合意を得ながら諸制度を活用し、課題解決を図る方向③苦情相談窓口は設置済で指導等も可能。認知度が低い場合更なる周知を図る。

中高生の自習スペースについて

- 問** 唯一専用スペースがある千代田図書館も制約が多い。運用改善を。また他の低未利用施設の活用もすべきでは。
- 答** 学校施設の利用拡充の検討や、千代田図書館の利用時間拡大等を工夫し、他館の低利用スペースも調査する。

岩佐 りょう子 (紡民)



区有施設屋内禁煙化について

- 問** ①区有施設の屋内禁煙化を②屋内禁煙化による受動喫煙防止の推進は、条例による路上喫煙規制とは両立しない。改めて条例の趣旨を検証し、喫煙者と非喫煙者の共生を検討すべき。
- 答** ①区有施設は屋内禁煙としていく②条例の仕組みは今後も推進。子どもの利用する公園の禁煙化や、密閉型喫煙所の増設を進めていく。

多様な家族形態への区の対応

- 問** 区営住宅は血縁又は婚姻関係にある親族の同居を入居要件にしている。性的マイノリティへ配慮する上で、多様な家族形態に対応すべきでは。
- 答** 家族形態や住み方の多様化は事実。社会状況を踏まえ、公平性の観点からも望ましいあり方を検討する。

はやお 恭一 (千代田)



子どもから高齢者までの在宅療養

- 問** ①病児保育の現状と課題は②かがやきプラザの基本構想に明記されていた訪問看護ステーションが未開設である経緯は③医療と介護が連携する療養通所介護の体制を整備すべきでは？
- 答** ①施設型の病児保育室の確保は非常に困難。訪問型が中心②客観的需要が見込めない、既設事業者からの新設への懸念等で見送った③必要なサービスであり、各方面の関係者と協議する。

表層地盤による地震対策

- 問** 地震の揺れには表層地盤の深さ、建造物の高さが影響。分析と対応は。
- 答** 都が地盤特性による揺れの分布を情報提供している。高さによる揺れは地盤の状況等で異なり、今後の研究結果を分析し、適切な情報提供に努める。

平成29年第2回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会



常任委員会では、区長提出議案8件を審査しました。主な議案の審査経過及び報告案件をご紹介します。なお、本会議における審議結果は10ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案8件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区災害対策基本条例の一部を改正する条例」は、条例中の「災害要援護者」を、災害対策基本法に規定する「要配慮者」へ統一する等の規定整備をするもので、公布の日から施行します。

〈審査経過〉

質疑の中で、今回の改正によって本条例の趣旨が変わるものではないこと。「災害要援護者」という言葉が千代田区でも長く使われてきたため、「要配慮者」という新しい言葉について、避難所運営協議会等での説明、半年に1回の要援護者名簿更新の際及び広報等で区民に対して十分周知をしていきたいと区が考えていること。区の地域防災計画の修正の中でもこの文言整理を行い、その結果についても周知をしていきたいと区が考えていること等が明らかになりました。

「千代田区立住宅条例を廃止する条例」は、区立外神田住宅の全入居者の退去完了に伴い、区立住宅の用途廃止及び区立住宅制度の終了により、本条例を廃止するとともに関係規定を整備するもので、公布の日から施行します。

〈審査経過〉

質疑の中で、区立住宅の廃止は、老朽化に伴い順次区営住宅に更新をしていく計画のもと、最後の外神田住宅の建物更新として区営東松下町住宅を整備し、入居者の住み替えを行ったものであること。退去後の住宅は、今後区で維持管理を行い、必要なところは2階以上にも仮囲いを行い、安全対策に努めていきたいと考えていること。全ての入居者に対して、退去手続の際に、住み替え先を確認し、対応してきたこと。今後区分所有者との協議、庁内の検討等を進め、利活用の方針を考えていきたいこと等が明らかになりました。

その他、「職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例」、「区立九段小学校・幼稚園改築工事請負契約の一部変更について」、「災害対策用備蓄物資の購入について」等の議案審査を行いました。



地域保健福祉委員会

報告案件10件のうち、主な報告は以下のとおりです。

「民泊のあり方検討委員会の設置について」は、住宅宿泊事業法（民泊新法）の成立により、区内住宅での民泊サービスが可能となることに伴い、適正な実施を図るため、課題の抽出と解決に向けて、区民の安全安心に留意したルールづくりをしていくための検討会を設置するものです。

新法では、宿泊事業者として届け出ることにより、年間180日間を超えない範囲で民泊サービスの提供が可能となる一方、騒音の発生や生活環境悪化の防止の観点から条例により区域を定め、サービスできる期間を制限することが可能です。

家主不在型は心配なので除外できないかとの意見もありますが、新法においては家主不在型も可能であるため、条例による規制は難しいこと、マンションの管理規約で禁止している場合は、届け出を受け付けなくてもよい可能性があることが明らかになりました。

また、苦情として増えている「ごみ出し」「深夜の騒音」「近隣住居に見知らぬ人が来ることへの不安」といった課題に対しては、指導等について、今後検討することとしています。

「高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の策定について」は、平成30年度から32年度までの計画期間で、「その人らしさが尊重され、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるまち千代田」を実現することを理念として、区民、学識経験者等で構成する第6期介護保険運営協議会に諮問し、具体的な検討を行っていくこと、また、介護予防事業の今後のあり方について検討会を設置し議論を進めていることについて報告がありました。

今回、法改正により、自立支援、重度化防止に向けた保険者機能の強化に関することや医療と介護の連携の推進、高齢者や障害者が同一事業所でサービスを受けやすくするための共生社会に向けた取り組み等が大きな柱であることが明らかになりました。

「〔仮称〕外神田一丁目公共施設整備について」は、万世橋出張所の隣地である東京都部分の土地を3月30日に購入し、3月31日には外神田一丁目公共施設の基本設計が完了したこと、今後は実施設計の作業に入り、平成31年度末の新しい万世橋出張所等の竣工・開設を目指していることの報告がありました。

平成29年第2回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会



子育て文教委員会

報告案件7件のうち、主な報告は以下のとおりです。

「区有地を活用した認可保育所等の整備・運営事業者募集の概要について」は、取り組みの進捗状況が報告されました。この中で、既存の建物を利用し小規模保育所を整備する場合、法的な基準が厳しすぎることもあるため、都心に位置する区の地域特性について、関係機関に申し入れていく等により整備を進めていくことが明らかになりました。

地蔵橋西児童遊園を活用した保育所整備は、当初、開設時期を平成30年7月と予定していましたが、改めて、工事期間等を積算した結果として、公募を行う際は「平成31年4月までの間」となったことが明らかになりました。ただし、事業者からの提案により開設時期の前倒しを受け入れることの確認をしました。

なお、園庭については、屋上園庭を設置し、水遊びを行うことや、代替園庭として旧今川中学校を活用する予定であることが明らかになりました。

「平成29年度学童クラブ学年別在籍状況について」は、学年合計で平成29年度が975名、平成28年度の879名から96名増加した状況の中、複合施設の集会室の占有利用や学校内学童クラブの改修工事、施設規模等による弾力枠の受け入れ等により、平成29年度も待機児童ゼロを実現したとの報告がありました。この中で、今後も需要が見込まれることから、麴町地区に1カ所、平成30年度の新規開設に向けて取り組んでいくことを確認しました。

「平成29年度学級編制」「小学校・中学校・中等教育学校（前期課程）児童・生徒数の推移について」は、平成29年5月1日を基準とした学校別の状況が報告されました。この中で、平成25年以降、小学校の児童数は増加傾向にあることから、児童数等実態を随時把握し、運用等も含め弾力的な対応を適時行っていくことを確認しました。

また、中学校・中等教育学校では生徒数に開きが見られ、学校を選択することができることから、各学校の特色を一層PRしていく手段を研究・実施していく必要があることが明らかになりました。



特別委員会



オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

オリンピック・パラリンピックフラッグが都内を巡回し、各地で到着を歓迎する「東京2020フラッグツアー」の開催、推進プロジェクトの事業絞り込み及び北の丸公園周辺地域基本構想(案)の3件について報告がありました。気運醸成イベントは地域と連携して開催すること、北の丸公園周辺の整備は地元協議会と調整し、進めていくことを確認しました。

議会のあり方に関する調査特別委員会

新たな委員構成による初めての委員会のため、改選前に調査した内容や申し送り事項を確認し、今後の調査事項について議論しました。その中で、本区議会では未実施である委員会のインターネット中継や委員会におけるタブレットやパソコン使用、モニターの活用等について、先進事例の調査研究等を含め、先行して議論することを確認しました。

福祉施設整備特別委員会

軽井沢少年自然の家等について、「低未利用区有施設等検討会」の設置、需要調査を開始したことの報告がありました。

また、「親亡き後も住み慣れた地域で共生できる障がい者複合施設新設の早急な対応を求める陳情」は、障害者(児)の計画策定の中で実態を確認するとともに、陳情者との懇談や他自治体の施設調査等を行いながら精査していくこととし、継続審査となりました。

都市基盤整備特別委員会

(仮称)四番町公共施設整備、(仮称)麴町仮住宅の経緯・経過、外神田一丁目地区のまちづくり及び(仮称)外神田一丁目公共施設整備について、区から報告がありました。調査事項が多岐にわたるため、委員会として優先順位をつけて精力的に集中審議していくことを確認しました。



4月～6月の主な活動

月/日	日 程	月/日	日 程
4/11	政務活動費交付額等審査会	5/23	議会運営委員会
25	企画総務委員会	24	議会運営委員会
	地域保健福祉委員会		平成29年第1回千代田区議会臨時会
	子育て文教委員会		子育て文教委員会
	議会運営委員会		オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
27	区民集会運営協議会		議会のあり方に関する調査特別委員会
5/16	企画総務委員会		福祉施設整備特別委員会
	議会のあり方に関する調査特別委員会		都市基盤整備特別委員会
	お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会	26	企画総務委員会
	政務活動費交付額等審査会		地域保健福祉委員会
17	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会		子育て文教委員会
	公共施設整備特別委員会		議会運営委員会
	マンションと地域コミュニティ活性化特別委員会	29	〈平成29年第2回千代田区議会定例会告示日〉
〈平成29年第1回千代田区議会臨時会告示日〉	議会運営委員会		
19	議会運営委員会	6/2	議会運営委員会

平成29年第2回定例区議会 会期日程〈会期18日間〉

月/日	本会議・委員会関係日程	月/日	本会議・委員会関係日程
6/5	議会運営委員会	6/15	議会のあり方に関する調査特別委員会
	本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等)		福祉施設整備特別委員会
6	議会運営委員会	16	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
12	議会運営委員会		都市基盤整備特別委員会
		本会議(代表質問・一般質問)	19
13	議会運営委員会	20	企画総務委員会
	本会議(一般質問・議案の付託等)		地域保健福祉委員会
14	企画総務委員会		21
	地域保健福祉委員会	22	議会運営委員会
	子育て文教委員会		本会議(議案の議決等)

委員会で取り扱った陳情 (平成29年4月26日～平成29年7月10日) ※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

陳 情 名 (受付順に掲載)	送付委員会 ()は参考送付	審査状況 (平成29年7月10日現在)
テロ等準備罪(共謀罪)法案の徹底審議を求める意見書採択に関する要請書	(企画総務委員会)	審査終了
親亡き後も住み慣れた地域で共生できる障がい者複合施設新設の早急な対応を求める陳情	福祉施設整備特別委員会	継続審査
東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた区民参加イベント実施要望書	オリンピック・パラリンピック 対策特別委員会	継続審査



区議会本会議を傍聴しませんか

簡単に議会活動を知る方法として、区議会で行われている論議を聞く「傍聴」があります。どなたでも傍聴できますので、活発な論議をぜひお聞きください。

【傍聴する際の流れ】

本会議の開催日程を確認し、開催当日に区役所8階の傍聴受付にお越しください。受付で住所・氏名を記入し、傍聴席にご着席ください。

本会議場は傍聴席66席のほか、車いす用スペースを3台分ご用意しています。

■ 音声の聞こえにくい方が本会議を傍聴する際のサポート

音声の聞こえにくい方の傍聴をサポートするため、区議会では本会議傍聴用に「磁気ループ用受信機」を貸し出しています。ご利用の際は、傍聴受付にお申し出ください。

【磁気ループ用受信機とは】

区議会の本会議場に設置された磁気誘導ループによる磁気信号を受信し、音声にする機器です。通常の補聴器は周囲の音を全体的に大きくするため、雑音も大きくなりがちですが、この機器は音声信号を受信するため、よりクリアな音声を聞くことができます。

■ 議員の賛否は、投票システムで表示しています

議案の採決を行う際には、原則として投票システムを使用しています。各議員の手元にある表決ボタンを押すだけで賛否の表明ができ、議員一人ひとりの賛成・反対や、それぞれの合計人数も即座にスクリーンに表示されます。そのため、時間をかけずに集計可能なうえ、議決状況が傍聴者にもわかりやすくなっています。



本会議場



傍聴席

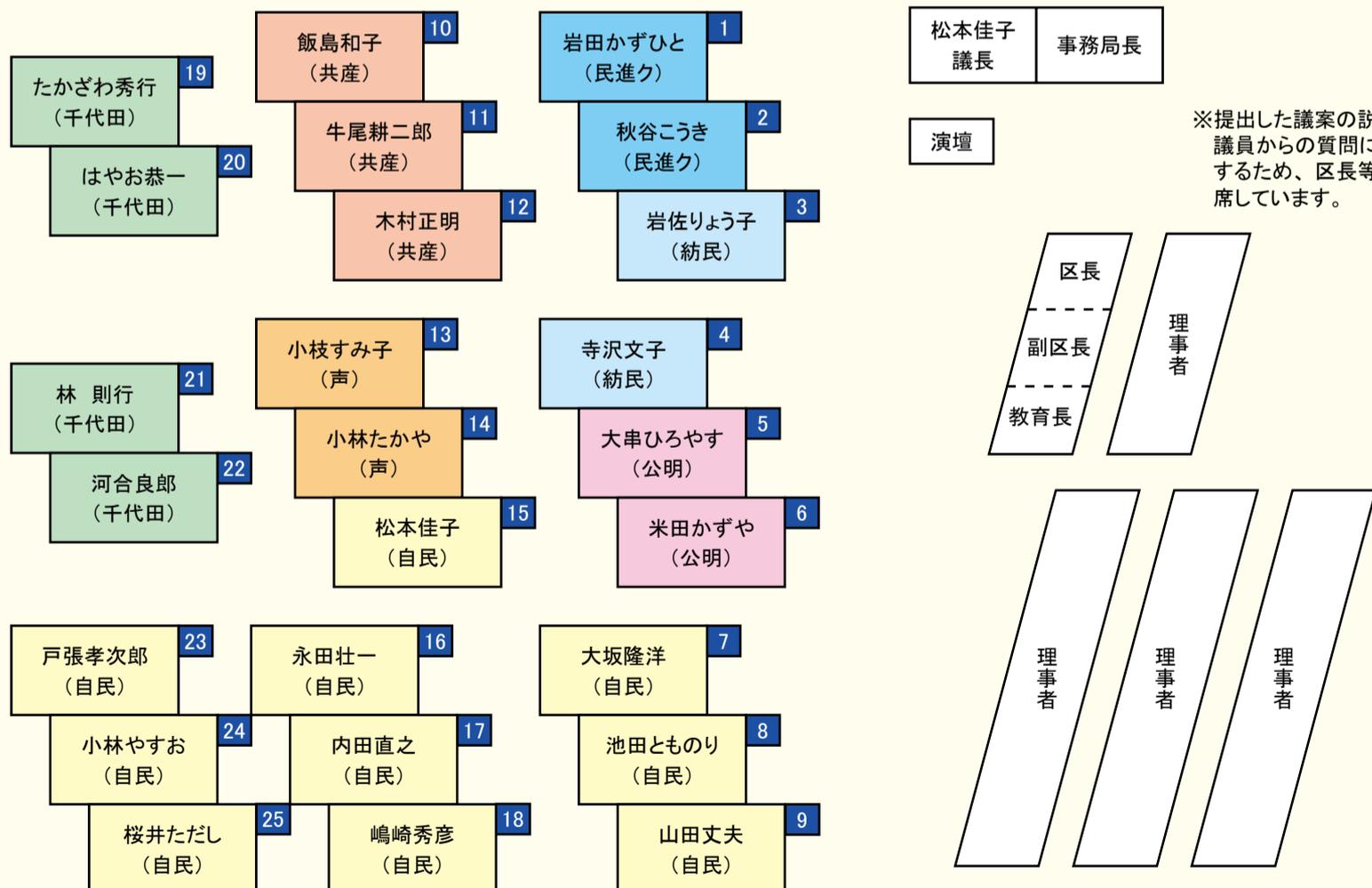


磁気ループ用受信機



表決ボタン

本会議場 議席図 (7階)



※会派名略称 自由民主党議員団(自民)／自由民主党 新しい千代田(千代田)／日本共産党区議団(共産)／ちよだの声(声)／千代田を紡ぐ会・民進(紡民)／公明党議員団(公明)／民進・クリーン千代田(民進ク)

8階 傍聴席 (66席) 車椅子用スペース (3台分)

議案の審議結果等 (平成29年第2回定例区議会)

可…可決/否…否決/採…採択/不…不採択

○…賛成/×…反対/欠…欠席/退…退席/除…除斥

議案名等	議員名等 ※議員名の下端は、会派名略称	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日
							岩田かずひと 進ク	秋谷こうき 民進ク	岩佐りょう子 紡民	寺沢文子 紡民	大申ひろやす 公明	米田かずや 公明	大坂隆洋 自民	池田とものり 自民	山田丈夫 自民	飯島和子 共産	牛尾耕二郎 共産	木村正明 共産	小枝すみ子 声	小林たかや 声	松本佳子 自民	永田壯一 自民	内田直彦 自民	嶋崎秀行 自民	たかざわ 秀行 千代田	はやお 恭一 千代田	林則行 千代田	河合良郎 千代田	戸張孝次郎 自民	小林やすお 自民	桜井ただし 自民	
職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
千代田区災害対策基本条例の一部を改正する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
千代田区立住宅条例を廃止する条例		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
区立九段小学校・幼稚園改築工事請負契約の一部変更について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
災害対策用備蓄物資(食料)の購入について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
災害対策用備蓄物資(水等)の購入について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
防災被服の購入について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
防災被服装備品の購入について		25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/22
報告 平成28年度千代田区一般会計予算の繰越明許費に係る歳出予算の繰越しについて																										6/13						

東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙候補者について(指名推選)	候補者	桜井 ただし 議員	6/5
-----------------------------------	-----	-----------	-----

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名
 ※ 会派名 自由民主党議員団(自民)/自由民主党 新しい千代田(千代田)/日本共産党区議団(共産)/ちよだの声(声)/千代田を紡ぐ会・民進(紡民)/公明党議員団(公明)/民進・クリーン千代田(民進ク)

■ QRコードから代表・一般質問の録画映像 をご覧になれます

今回の区議会だよりから、代表質問・一般質問のページ(P2～P5)にQRコードを表示しています。

スマートフォン・タブレット端末等でQRコードを読み取ると、各質問者のインターネット中継の録画映像をご覧になれます。(インターネット接続による通信料がかかる場合があります)

※QRコードを読み取るには、お使いのスマートフォン等のQRコード読み取り用アプリ等をご利用ください。



姉妹都市秋田県五城目町のだまこマンファミリー

■ 区議会だより編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

- ◎ 小林 やすお(自民)
- 河合 良郎(千代田)
- 秋谷 こうき(民進ク)
- 岩佐 りょう子(紡民)
- 米田 かずや(公明)
- 大坂 隆洋(自民)
- 池田 とものり(自民)
- 牛尾 耕二郎(共産)
- 小林 たかや(声)

